



広町自治会  
会長 猪俣 武雄  
802-2391



## 神奈川版緊急事態宣言発令 7/22 2020東京大会開幕 7/23



神奈川版緊急事態宣言が発令される中で、2020東京大会の開会式が行われています。復興五輪のテーマがいつの間にか、コロナに打ち勝った証にと言われていますが、まだまだ先の話のようです。ワクチン接種も1回目を受けた人は全国で30%に届いていないようです。

オリンピックも開会直前になって関係者からのコロナ陽性者発生や、組織委員会のゴタゴタで、うまく聖火台に点火出来るのか心配です。

**東京の陽性者急増中、1日で2000人超は時間の問題です。自衛策をとりましょう。**

### 《コロナウイルス・緊急事態宣言の時系列で何が見えますか》

<b>2020</b>	2/17	ワクチンの接種開始、医療従事者優先
1/24 武漢市は（都市封鎖）	2/27	首都圏を除き緊急事態宣言を解除
1/30 WHOはパンデミックと宣言	3/5	一都三県の緊急事態宣言、再延長
2/3 横浜港寄港のクルーズ船が感染	3/10	東京五輪、海外客受け入れ断念
2/11 WHOは「COVID-19」と命名	3/21	一都三県の緊急事態宣言を解除
2/27 安倍首相、全国の小中高に春休み休校を要請	3/25	聖火リレーがスタート
3/9 専門家会議が「3密」を呼びかける	4/12	高齢者へのワクチン接種開始
3/30 2020オリンピック一年延期を決定	4/16	首都圏にまん延防止等重点措置を適用
3/31 外務省、世界73カ国に渡航中止勧告 この頃マスク不足が表面化	4/16	変異型株ウイルス、世界で猛威
4/1 安倍首相、布マスク全世帯配布を決定	4/25	東京、大阪4都府県に緊急事態宣言発令
4/7 7都県に緊急事態宣言を発出	5/12	東京隣接県はまん延防止等重点措置 緊急事態宣言6都府県に拡大、5/31まで延長
4/8 武漢市、都市封鎖解除、	5/17	ワクチンの大規模接種センターが予約受付開始
4/21 日本製鉄、JFE他は高炉休止	5/21	緊急事態宣言6/20まで延長
5/4 緊急事態宣言を31日まで延長	6/17	大規模接種、64歳以下の受付開始
5/25 緊急事態宣言を全面解除	6/20	緊急事態宣言がまん延防止等重点措置へ
7/22 「GoTo トラベル」全国で開始	7/3	ワクチン予約各地で停止、接種計画見直し
9/17 菅内閣が発足	7/7	陽性者数増大、変異株も増える
10/1 「GoTo イート」開始	7/11	東京に緊急事態宣言、8/22まで
12/14 「GoTo トラベル」を全国で停止	7/22	神奈川版緊急事態宣言発令
<b>2021</b>	7/23	オリンピック東京大会開幕
1/8 4都県に緊急事態宣言を再び発令		
1/13 緊急事態宣言を11都府県に拡大		
1/27 世界の感染者1億人超へ		

○上の経過を見て、皆さんは何を感じたのでしょうか

- ・コロナと付き合って一年八ヶ月、取り組みが後手に回り、総理大臣や閣僚の話が思いつきや訂正ばかりが目立ちます。
- ・「20代～40代の人に接種券の配布が始まりました。もしあなたや家族が感染したらと考えて下さい。ワクチンの接種を受けましょう、ネットのデマに振り回されないで」

# ネットトラブルに巻き込まれない為に！

インターネットの急速な普及に伴い、電子メール、オークション、ショッピング、バンキング等、様々なサービスが提供され、私たちの生活は便利になっています。反面、不正アクセスやインターネットを利用した詐欺、掲示板やメールでの中傷など、様々なトラブルや犯罪も急増しています。

インターネットには、目に見えない出入り口が多く、個人情報が盗まれ、トラブルに巻き込まれる可能性も大。部屋には壁や仕切りがあるが、コンピュータにはない。無防備ならば、どこからでも丸見えといっても過言ではありません。

コンピュータやネットワーク自体が悪い訳ではありませんが、悪意を持った人がいる限り、犯罪やトラブルに巻き込まれる可能性も。ちょっとした不注意から、トラブルに巻き込まれてしまいます。手口が巧妙化し、知らない間に被害にあったり、加害者になっていたという事例も。

インターネットやお店の端末を利用した時、情報が盗まれることも。あなたの名前とクレジットカードのデータが盗まれ、ショッピングサイトで勝手に使われることも。銀行等を装ったメールや本物そっくりのホームページに情報を入力させるフィッシング詐欺も。

## ■新たな手口の犯罪が次々と発生しています！その為には

個人情報収集が目的のクイズやアンケートには注意しよう。  
スパムメール（迷惑メール）は無視。  
メールや掲示板、ブログ等にうそや悪口を書かない。  
怪しいリンクはクリックしない。  
名前・住所等の個人情報の入力には慎重に。  
怪しい場合、電話やメール等で確認してから利用しよう。  
クレジットカードの利用明細や預金通帳は定期的にチェックする。  
何か分からない添付ファイルは即削除！（コンピュータウイルスかも？）  
SSL や SET 等で暗号化されていないページでの情報入力は避ける。  
事前に登録し、認証サービスを利用するのもよい。  
掲示板やブログに必要以上に個人情報を明かさない。  
不当な請求や脅しのメールは無視。（応答すると個人情報が漏れる）しつこい時は警察へ！



## ■困った事があれば、警察等に相談！（法律の改正で、取締りや罰則も強化された）

神奈川県警察本部 サイバーセキュリティホットライン ☎045-681-3180

総務省の「国民のための情報セキュリティサイト」には、安心してインターネットを使うための様々な情報が解りやすく紹介されています。

警察でも、次々と高度化・悪質化するサイバー犯罪に対応するため、「警察庁サイバー犯罪対策プロジェクト」を立ち上げ、様々な事例や対策等の情報を紹介しています。

## ■自分自身が、被害者や加害者にならない為に！

セキュリティ（ウイルスやスパイウェアの駆除等）対策ソフトで防備！ウイルスや侵入者に注意  
ウイルスソフト等のパターンファイルは最新のものに！  
妖しいサイトは閲覧しない！  
身に覚えのない催促や脅しのメールが来ても無視しよう！  
妖しい添付ファイルは開かずに削除！  
個人情報を要求するメールは無視！  
ファイル交換ソフト（Winny 等）に注意！  
OS（Windows 等）の更新（Update）を！  
うそや悪口は絶対にダメ！（相づちを打つだけでも加害者）  
他人の個人情報を勝手に利用しない！



自分が被害にあわないだけでなく、周囲の小さな犯罪も絶対に許さないという姿勢が大切。一人ひとりの意識で、犯罪を減らすことが出来ます。ネット社会も実社会も同じです。みんなの力で住みよい社会を築きあげましょう！